

令和6年度 年間指導計画 3学年【社会科】 指導担当 丸田 尚哉

月	単元・題材 指導目標 ()は時数	観 点	評 価 材 料
4月 ～ 5月	単元1 近代の日本と世界 (30) 1節 第一次世界大戦と民族独立の動き 1 クリスマスまでには帰れるさ 2 平和、民主主義を求めて 3 成金の出現 4 不戦の誓い 5 わきあがる独立の声 2節 大正デモクラシー 1 憲政の本義を説いて 2 デモクラシーのうねり 3 モボ・モガの登場 3節 恐慌から戦争へ 1 独裁者の出現 2 日本を襲う不景気 3 満州は日本の生命線 4 「話せばわかる」 5 ぜいたくは敵だ 4節 第二次世界大戦と日本の敗戦 1 枢軸国と連合国の戦い 2 米・英への宣戦布告 3 欲しがりません勝つまでは 4 軍国主義の敗北	観点1 知識・技能 ・第一次世界大戦野背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動き、などを基に、第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解している。 ・経済の世界的な混乱と社会問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦の集結までの我が国の政治、外交の動きなどを基に、軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解している。	<input type="checkbox"/> ペーパーテスト <input type="checkbox"/> 説明する活動 <input type="checkbox"/> パフォーマンス課題 <input type="checkbox"/> レポート
	第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動き、日本国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などの学習を通して、第一次世界大戦前後の国際情勢及び日本の動きについて理解させる。世界恐慌から生じた社会問題の発生、第二次世界大戦終結までの日本の動き、アジア諸国・欧米諸国との関係について、軍部の台頭との関係を踏まえながら捉えさせる。	観点3 主体的に学習に取り組む態度 ・近代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	<input type="checkbox"/> PDCA シートの振り返り <input type="checkbox"/> チーム学習への取組姿勢 <input type="checkbox"/> 課題に対する取組姿勢 <input type="checkbox"/> 授業中のワークシート <input type="checkbox"/> プレゼン、発表準備に向けての取組姿勢
6月 ～ 10月	単元2 近代の日本と世界 (24) 1節 日本の民主化と冷戦 1 敗戦からの再出発 2 平和国家を目指して 3 冷たい戦争の始まり 4 38度線の緊張 5 独立からの復興 2節 世界の多極化と日本 1 自主・独立・平和を求めて 2 国際関係の変化 3 高度経済成長の光とかげ 3節 冷戦の終結とこれからの日本 1 変動する国際社会 2 私たちの生きる時代へ 3 未来をひらくために	観点1 知識・技能 ・冷戦、大戦後の諸改革を基に、新しい日本の建設が進められたことを理解している。 ・高度経済成長、冷戦の終結などを基に、国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解している。	<input type="checkbox"/> ペーパーテスト <input type="checkbox"/> 説明する活動 <input type="checkbox"/> パフォーマンス課題 <input type="checkbox"/> レポート
	冷戦、日本の民主化と再建の過程、国際社会への復帰などの学習を通して、第二次世界大戦後の諸改革の特色を考えさせ、世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解させる。高度経済成長、国際社会とのかかわり、冷戦の終結などを通して、日本の経済や科学技術が急速に発展して国民の生活が向上し、国際社会において日本の役割が大きくなってきたことに気付かせる。	観点3 主体的に学習に取り組む態度 ・現代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	<input type="checkbox"/> PDCA シートの振り返り <input type="checkbox"/> チーム学習への取組姿勢 <input type="checkbox"/> 課題に対する取組姿勢 <input type="checkbox"/> 授業中のワークシート <input type="checkbox"/> プレゼン、発表準備に向けての取組姿勢
6月 ～ 9月	単元4 人間の尊重と日本国憲法の基本的原則 (22) 1節 人権と日本国憲法 1 人権の歴史 2 立憲主義と日本国憲法 3 国民主権と天皇の地位 4 日本の平和主義 2節 人権と共生社会 1 基本的人権と個人の尊重 2 平等権 ー共生社会を目指してー 3 自由権 ー自由に生きる権利ー 4 社会権 ー豊かに生きる権利ー 5 人権保障を確かなものに 6 「公共の福祉」と国民の義務 3節 これからの人権保障 1 新しい人権① ー産業や科学技術の発展と人権ー 2 新しい人権② ー情報化の進展と人権ー 3 グローバル社会と人権	観点1 知識・技能 ・人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解している。 ・民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解している。 ・日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることを理解している。 ・日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。	<input type="checkbox"/> ペーパーテスト <input type="checkbox"/> 説明する活動 <input type="checkbox"/> パフォーマンス課題 <input type="checkbox"/> レポート
	人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深めさせ、法の意義を理解させるとともに、民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解させ、日本の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について考えさせる。また、日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則にしていることについて理解を深めさせる。	観点3 主体的に学習に取り組む態度 ・人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	<input type="checkbox"/> PDCA シートの振り返り <input type="checkbox"/> チーム学習への取組姿勢 <input type="checkbox"/> 課題に対する取組姿勢 <input type="checkbox"/> 授業中のワークシート <input type="checkbox"/> プレゼン、発表準備に向けての取組姿勢

<p>10月 ～ 11月</p>	<p>単元5 民主政治と政治参加 (24)</p> <p>1節 現代の民主政治 1 民主主義と政治 3 政党と政治</p> <p>2節 国の政治の仕組み 1 国会の地位と仕組み 3 行政の仕組みと内閣 5 裁判所の仕組みと働き 7 裁判員制度と司法制度改革</p> <p>2 政治参加と選挙 4 マスメディアと世論</p> <p>3節 地方自治と私たち 1 私たちの生活と地方自治 3 地方財政の仕組みと課題</p> <p>2 国会の働き 4 行政の役割と行政改革 6 裁判の種類と人権 8 三権の抑制と均衡</p> <p>2 地方自治の仕組み 4 住民参加の拡大と私たち</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>地方自治の基本的な考え方について理解させる。また、国会を中心とする日本の民主政治の仕組みや政党の役割を理解させ、議会制民主主義の意義について考えさせる。さらに、国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保証があることについて理解させるとともに、政治に参加することの意義について考え、自らのあり方に気付かせるようにする。</p> </div>	<p>観点1 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解している。 ・議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用の在り方について理解している。 ・国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。 ・地方自治の基本的な考え方について理解している。 <p>観点2 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察し、構想し、表現している。 <p>観点3 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 	<p><input type="checkbox"/>ペーパーテスト <input type="checkbox"/>説明する活動 <input type="checkbox"/>パフォーマンス課題 <input type="checkbox"/>レポート</p> <p><input type="checkbox"/>課題に対する授業中の表現 <input type="checkbox"/>ワークシート記述 <input type="checkbox"/>パフォーマンス課題 <input type="checkbox"/>レポート <input type="checkbox"/>ペーパーテスト</p> <p><input type="checkbox"/>PDCA シートの振り返り <input type="checkbox"/>チーム学習への取組姿勢 <input type="checkbox"/>課題に対する取組姿勢 <input type="checkbox"/>授業中のワークシート <input type="checkbox"/>プレゼン、発表準備に向けての取組姿勢</p>
<p>12月 ～ 1月</p>	<p>単元6 市場の働きと経済 (24)</p> <p>1節 消費生活と経済 1 私たちの消費生活 3 消費者の権利を守るために</p> <p>2節 生産と労働 1 資本主義経済と企業 3 労働の意義と労働者の権利</p> <p>3節 価格の働きと金融 1 市場経済の仕組み 3 貨幣の役割と金融 5 景気と金融政策</p> <p>4節 政府の役割と国民の福祉 1 私たちの生活と財政 3 社会保障の仕組み</p> <p>5節 これからの経済と社会 1 公害の防止と環境の保全 3 豊かさや経済</p> <p>2 契約と消費生活 4 消費生活を支える流通</p> <p>2 株式会社の仕組み 4 働きやすい職場を築くため</p> <p>2 価格の動き 4 私たちの生活と金融機関</p> <p>2 政府の役割と財政の課題 4 少子高齢化と財政</p> <p>2 グローバル化する日本経済</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>身近な消費生活を中心に経済活動の意義を理解させるとともに、価格の働きに着目させて身近な例を示しながら、市場経済の基本的な考え方について理解させる。また、生産や金融などの仕組みや働きを理解させるとともに、社会における企業の役割と責任について捉えさせる。その際、労働の権利や義務、労働組合の意義及び労働基準法などにも触れ、働き方改革を例にしながら理解を深めさせる。</p> </div>	<p>観点1 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な消費生活を中心に経済活動の意義について、市場経済の基本的な考え方、現代の生産や金融などの仕組みや働き、勤労の権利と義務について理解している。 ・社会保障の意義、財政及び租税の意義について理解している。 <p>観点2 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、労働や市場経済、財政に関する諸問題について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 <p>観点3 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市場の働きと経済、国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 	<p><input type="checkbox"/>ペーパーテスト <input type="checkbox"/>説明する活動 <input type="checkbox"/>パフォーマンス課題 <input type="checkbox"/>レポート</p> <p><input type="checkbox"/>課題に対する授業中の表現 <input type="checkbox"/>ワークシート記述 <input type="checkbox"/>パフォーマンス課題 <input type="checkbox"/>レポート <input type="checkbox"/>ペーパーテスト</p> <p><input type="checkbox"/>PDCA シートの振り返り <input type="checkbox"/>チーム学習への取組姿勢 <input type="checkbox"/>課題に対する取組姿勢 <input type="checkbox"/>授業中のワークシート <input type="checkbox"/>プレゼン、発表準備に向けての取組姿勢</p>
<p>2月 ～ 3月</p>	<p>単元7 世界平和と人類の福祉の増大 (16)</p> <p>1節 国際社会の仕組み 1 国際社会における国家 3 地域主義の動き</p> <p>2節 さまざまな国際問題 1 地球環境問題 3 貧困問題</p> <p>3節 これからの地球社会と日本 1 文化の多様性の尊重 3 世界とつながる日本</p> <p>2 国際連合の仕組みと役割 4 新興国の台頭と経済格差</p> <p>2 資源・エネルギー問題 4 新しい戦争</p> <p>2 日本の外交の現状と課題 4 世界平和のために</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、相互理解及び国際機関などの役割が大切であることを認識させ、国際社会における日本の役割について考えさせる。その際、平和主義や国際貢献について、事例をふまえながら理解を深めさせる。また、地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題解決のために自分に何ができるとことを考えさせる。</p> </div>	<p>観点1 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、国際機関などの役割が大切であることを理解している。 ・地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解している。 <p>観点2 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、日本国憲法の平和主義を基に、我が国の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 <p>観点3 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界平和と人類の福祉の増大について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 	<p><input type="checkbox"/>ペーパーテスト <input type="checkbox"/>説明する活動 <input type="checkbox"/>パフォーマンス課題 <input type="checkbox"/>レポート</p> <p><input type="checkbox"/>課題に対する授業中の表現 <input type="checkbox"/>ワークシート記述 <input type="checkbox"/>パフォーマンス課題 <input type="checkbox"/>レポート <input type="checkbox"/>ペーパーテスト</p> <p><input type="checkbox"/>PDCA シートの振り返り <input type="checkbox"/>チーム学習への取組姿勢 <input type="checkbox"/>課題に対する取組姿勢 <input type="checkbox"/>授業中のワークシート <input type="checkbox"/>プレゼン、発表準備に向けての取組姿勢</p>

